

西脇市消費生活センター

☎22-3111 (防災安全課内)

No.191

送り付けられた商品、処分可能に

7月に特定商取引法が改正され、金銭を得ようとして一方的に送り付けられた商品は処分できるようになりました。ただし、誤配送の場合は、この規定は適用されません。注意しましょう。

◆一方的な送り付け行為への対応3カ条

◇対応① 商品は直ちに処分可能

消費者は注文や契約をしていないにも関わらず、金銭を得ようとして一方的に送り付けられた商品を、直ちに処分することができます。

◇対応② 金銭を請求されても支払い不要

事業者から商品を一方的に送り付けられたとしても、金銭を支払う義務は生じません。もし、消費者がその商品を開封・処分しても、金銭の支払いは不要です。事業者から支払いを要求されても、応じないようにしましょう。

◇対応③ 誤って金銭を支払ったらすぐ相談

一方的に送り付けられた商品の代金などを請求され、支払い義務があると誤解して、金銭を支払ってしまったとしても、その金銭の返還を請求することができます。西脇市消費生活センターへご相談ください。

あぐりコラム 29

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課 (市役所内線 2031)



家族が食べる分だけの野菜を栽培・収穫

「農業」と「好きなこと」を掛け合わせた暮らし

「はんのうはんエックス」
「半農半X」という考え方をご存じでしょうか。文字どおり「農業」のある暮らしを送りながら、残りの半分を「X」、つまり好きなことや仕事をする生活のことです。「半農半X」の提唱者・塩見直紀さんは、「農の部分は決して商売でなくていい。自分と自分の家族が食べられるだけの食があればそれでいい。本当に必要なものを満たす小さな暮らしをして、好きなことをして、積極的に社会に関わっていく、そんな生き方・考え方を意味する」と説明。販売目的の農業ではなく、自給農的な意味合いが強いです。

アフターコロナの生活を模索する中、精神的にも満たされる「半農半X」の暮らし方は、心豊かな暮らしをしたいという人たちから共感を集めています。リモートワークをしながら、生活に農を取り入れ、自分と家族が食すだけの農作物を育てる——。そんな生活が、今後、拡大するかもしれません。定年後の新しい生活を考えている皆さん。生き生きとした暮らし「半農半X」の生活を考えてみては、いかがでしょうか。



▲タブレット型パソコンで植物を観察・撮影する児童 (楠丘小)

好きです!! にしわきわたしのふるさと

心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

1人1台タブレット型パソコンで学習

市内小中学校では、児童生徒に1人1台のタブレット型パソコンを整備し、授業での活用が進んでいます。この夏休みには、一部の学校で家庭学習にも活用。今後は校外学習を含め、あらゆる場面で活用し、これからの社会で必要となる「ICT機器を学習や仕事、生活に活用する力」を育みます。

カメラで記録、見直しに活用

理科の実験や体育の実技では、内蔵するカメラで写真や動画を撮影。後から見直したり、友達のものを見比べたりして新たな学びができています。また、クラス全員の意見をまとめて比較できるソフトを活用し、調べたことを話し合い、考えを深める学習が簡単にできるようになっています。改定された学習指導要領にのっとり「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた取り組みを進めています。

使用ルールを明確化

児童生徒には学校生活に関することに使うといった使用目的や、目を休めながら使うこと、就寝前には使わないこと、個人情報には教えないことなど「利用の約束」を指導。危険なサイトにアクセスできない設定もしています。また、端末の保護のために神崎紙器工業株式会社さん(丹波市)からダンボール製のケースの寄贈があり、機器を大切に扱う方法を指導しながら端末の持ち運びに活用しています。

◆問合せ 学校教育課(市役所内線4023)

心のスケッチ

149

人権教育課コラム

全ての垣根を越えて

「侍ジャパン」は野球男子日本代表、「なでしこジャパン」はサッカー女子日本代表というように、「〇〇ジャパン」という愛称がよく使われます。では、「火ノ玉ジャパン」という愛称を皆さんはご存じですか。開催中の東京2020パラリンピックの正式種目である、ボッチャ日本代表の愛称です。ボッチャはジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに向かって、赤・青のそれぞれ6球のボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当たったりしながら、ジャックボールにいかにか多くのボールを近づけるかを競うスポーツで、「地上のカーリング」とも呼ばれています。ボッチャをはじめとする障害者スポーツは、もともと障害がある人のために考案されたスポーツでしたが、いまでは老若男女、障害の有無に関わらず、みんなが一緒に参加し活動できるユニバーサルスポーツとして広がりをみせています。

西脇市においては、スポーツ推進委員が中心となってボッチャの普及に取り組んでいます。また、「にしわきジュニアじんけん教室」の活動の一環で、令和2年度から市内の小中学校に通う子どもたちがボッチャを通して、障害がある人たちと交流してきました。参加者は年齢、性別、障害の有無、運動能力などにとらわれることなく、それぞれのチームで知恵を出し合い、作戦を立てながらボッチャを楽しみました。そこには自然と協力し合い、さまざまな違いを感じさせない雰囲気がありました。

多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる社会をつくっていくことは、オリンピック・パラリンピックが掲げる理念でもあります。コロナ禍で開催された57年ぶりの祭典も、あとわずか開幕します。今大会を通して発信されたメッセージが多くの人に気付きを与え、より良い社会をつくるムーブメントになるとともに、ユニバーサルスポーツを通じた西脇市の取り組みが、さらに発展していくことを願います。

市長からの手紙

92

西脇を元気に!!



西脇市長 片山 三

いつまでも元気で

西脇市では昨年度から「健康運動教室Ni-Co」を実施しています。にこはNHKなどのテレビ番組や雑誌で著名な、筑波大学大学院・久野譜也教授の研究成果に基づく個別運動プログラムです。「体力年齢が9歳も若返った(85歳・男性)」「高血圧が改善した」、また、現在参加されている方は「意識して体を動かすことができるようになった。家族や参加者などとの会話も増えた(91歳・女性)」と、内容はさまざまですが、目を見張る成果が出ています。年齢を重ねても自分のことは自分でできて、住み慣れた地域でいつまでも健やかで幸せに暮らしたいものです。7月にスタートした今年度のにも大盛況。79歳以下の方の枠(募集枠の約85%)はすぐにいっぱいになりましたが、80歳以上の方の枠(募集枠の約15%)はまだ空きがあります。広報紙で追加募集していますので、ぜひご参加ください。

また、今年の4月から運行している乗合タクシー「むすブーン」は、平日100人以上もの方に利用いただくなど大好評。ループバス「めぐりん」ともに、予想を上回る乗車率で驚いています。「とても便利。行動範囲が広がった」などの声が寄せられています。ぜひ、ご利用ください。



健康運動教室Ni-Coでは、スタッフが運動をサポートします

9月20日は「敬老の日」。ご高齢の方も朗らかに暮らせる「元気なまち西脇市」をもに創ってまいります。